

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)新仁川新築工事	階数	地上4F
建設地	兵庫県西宮市仁川町三丁目83番	構造	RC造
用途地域	第2種低層住居専用地域、22条区域	平均居住人員	139人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年8月22日
敷地面積	2,304㎡	作成者	鈴木 進太郎
建築面積	1,100㎡	確認日	
延床面積	3,580㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	高効率機器を採用し、建物から発生するエネルギー量を低く抑えた他、自然採光及び通風等の自然エネルギーを積極的に取り入れることが可能な建築物とした。	その他 特に無し
Q1 室内環境	十分な大きさの窓を設けることで、自然採光を室内に取り込み、豊かな居住環境となるように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 道路に面して樹木を積極的に設けることで、周囲に開けた建築物となるように配慮した。
LR1 エネルギー	(外皮)過半の住戸が、断熱等性能等級4を満たす(一次エネルギー) BEI=0.75	LR3 敷地外環境 省エネルギー性能の高い建築物とすることで、建物運用時のCO ₂ 発生量を低く抑えられるように配慮した。
Q2 サービス性能	使用部材には、耐久性の高い部材を採用することで、維持管理等のメンテナンスが容易に行えるように配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	節水機器及びリサイクル材等を採用することで、省資源化に寄与した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される